

宇都宮都市交通戦略の次期短期施策事業の設定等について

1. 目的

「宇都宮都市交通戦略」に定める施策事業のうち「短期(H21～H23)施策事業」の実施期間が終了することから、進捗状況や施策事業を取巻く環境の変化など踏まえながら、新たな短期施策事業を抽出するとともに、目標指標設定等の時点修正を行うもの。

2. 次期短期(H24～H26)施策事業の設定 (⇒ **資料 3** 参照)

(1) 基本的な考え方

「戦略」は平成30年度を目標年次としていることから、その基本理念や施策の体系については現行どおりとし、これまでの取組状況等を基に現中長期(H24～H30)施策事業の中から、早期に実施すべきものの抽出を行う。併せて「戦略」の基本理念や施策目標を達成するために有効な施策事業等について新規事業の位置づけを行い、これらについて重点的に実施すべきものを選定する。

(2) 既定施策事業の実施スケジュールの見直し

「戦略」に位置づけている現中長期(H24～H30)施策事業について、これまでの施策事業の評価を踏まえながら、スケジュールの具体化を行い、H24からH26に実施する「次期短期施策事業」とH27～H30に実施を予定する「次期中期施策事業」に区分する。

① 施策事業が完了・達成したものは終了とする。

⇒ 「JR雀宮駅橋上化・東西自由通路の新設」等

② これまでの進捗状況や効果等の評価を踏まえ引き続き実施する必要がある事業や事業の具体化が図られ早期に事業を実施していくべきものについて、「次期短期(H24～H26)施策事業」に位置づける。

⇒ 「バス路線の新設」、「地域内交通の導入」等

③ 事業実施に向けて引き続き検討を行う必要がある事業や課題の調整のため実施を当面見送るべき事業を「次期中期(H27～H30)施策事業」に位置づける。

⇒ 「基幹公共交通の整備」、「3社共通系統番号の導入」

(3) 新規施策事業の追加

「戦略」策定以降、新たに策定した分野別計画等に位置付けられた事業で「戦略」に反映すべきものについて、実施時期を整理した上で「新規事業」として盛り込む。

⇒ 「自転車のまち推進計画」の策定に伴う「モビリティ・センターの整備」等

(4) 重点施策事業の選定

「次期短期(H24～H26)」区分の施策事業において、重点的に実施する施策事業の選定を行う。事業の具体化が図られている大規模事業や取組を加速させる必要がある事業について重点事業に位置づける。

⇒ J R 岡本駅整備関連事業， バス路線の新設・拡充関連事業



【新たな施策事業スケジュール(案)】

	実施時期	事業数	主な施策事業名
現短期	次期短期 (H24～H26)	27	バス路線の新設， 地域内交通の導入， C&R用駐輪場の整備， バス停の利用環境整備， 目的・ニーズに応じたバスの運行， 鉄道駅のインフォメーションの改善， 都市計画道路の整備， レンタサイクルの充実， 自転車道の整備， 人にやさしいバスの導入， モビリティ・マネジメントの実施 等
	終了	2	JR 雀宮駅東口広場・交通環境の整備， JR 雀宮駅橋上化・東西連絡通路の新設 等
	次期中期 (H27～H30)	1	3社共通の系統番号の導入
現中長期	次期短期 (H24～H26)	8	乗り継ぎ割引制度の導入， JR 岡本駅周辺の整備， 循環バス(ミニバス)の運行， JR 岡本駅橋上化・東西連絡通路の新設 環境にやさしいバスの導入 等
	次期中期 (H27～H30)	13	基幹公共交通の整備， ICカードの導入， バスの運行情報の提供， 新駅の設置， P&R(P&BR)用駐車場・フリンジパーキングの整備 等
新規	次期短期 (H24～H26)	3	モビリティセンターの整備， 自転車マップの作成 等

3. 目標指標の見直しについて (⇒ 資料 4 参照)

施策事業の進捗により目標を達成した事業の目標値の見直しや分野別計画や国の新たな指針等との連携， 整合を図るための新たな指標の設定を行う。

⇒ 都市計画道路の整備率， 中心市街地通行量 等